

ブース番号



# 北海道公立大学法人札幌医科大学 医学部薬理学講座

TEL : 011-688-9580

Email : horio@sapmed.ac.jp

HP : <http://web.sapmed.ac.jp/pharmacology/index.html>

## 研究内容の特徴

老化の研究、特に、若さを維持する長寿遺伝子 SIRT1 の働きから老化を調べています。SIRT1 は筋肉や皮膚の老いや病気に関係しています。

## 技術アピール・マッチングニーズ

SIRT1 を活性化するポリフェノール、例えばレスベラトロールの深い働きを徹底研究しています。特に、細胞や動物を用いた試験法での素材の科学的、客観的な評価を行うことができ、数値化することも可能です。また、レスベラトロールについては、札幌医科大学付属病院で筋ジストロフィーの患者さんに投与する臨床研究を、小児科学講座や他の教室とともに行いました。

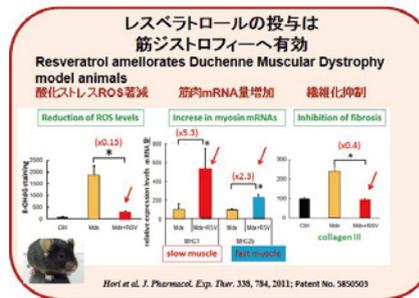
## 老化の研究～長寿遺伝子の働きと老化～

### 機関概要

〒060-8556

札幌市中央区南1条西17丁目

- 機関名 / 北海道公立大学法人札幌医科大学
- 所属名 / 医学部薬理学講座
- 専門分野 / 病態医化学
- 代表者・担当者 / 堀尾 嘉幸 教授



PRERELEASE

札幌医科大学  
SAPMEDICAL UNIVERSITY OF HOKKAIDO

筋ジストロフィー患者に対するレスベラトロールを飲む  
 札幌医科大学研究開発情報発信室

～長寿遺伝子活性化による筋ジストロフィー治療薬開発の最新情報～

＜研究の背景＞  
 筋ジストロフィーは、神経筋疾患の中でも最も頻りに発症する遺伝性筋疾患で、患者数は約1万人と推定されています。この疾患は、筋肉の筋繊維が徐々に壊れていくことで、筋力が低下し、歩行が困難になるなど、生活の質が著しく低下します。現在、筋ジストロフィーに対する治療薬は限られており、患者の生活の質を向上させるための治療法の開発が急務とされています。

＜研究の目的＞  
 長寿遺伝子SIRT1の活性化による筋ジストロフィー治療薬の開発を目指し、レスベラトロールの効果を評価することを目的としました。

＜研究の概要＞  
 筋ジストロフィーモデル動物にレスベラトロールを投与し、その効果を評価しました。その結果、レスベラトロールの投与により、筋力が増加し、筋繊維の壊れが抑制されました。また、酸化ストレスが減少し、筋繊維の繊維化が抑制されました。これらの結果は、レスベラトロールが筋ジストロフィーの治療薬として有効であることを示唆しています。

＜今後の展望＞  
 今回の研究結果に基づき、レスベラトロールを治療薬として開発することを目指しています。また、他の長寿遺伝子活性化剤の効果を評価することも行っています。

＜お問い合わせ先＞  
 札幌医科大学 研究開発情報発信室  
 〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目  
 TEL: 011-688-9580  
 E-mail: horio@sapmed.ac.jp

※本情報は、研究開発の進捗状況に応じて変更される場合があります。